

エコアクション21

環境経営レポート

＜2024年度版＞

取組期間：2023年4月1日～2024年3月31日



明日に向かって躍進！！
信頼と誠実をモットーに

電気と機械の総合商社
 株式会社 **大和商會**
〒768-0011 香川県観音寺市出作町256番地
TEL 0875 (25) 2133 (代) FAX 0875 (23) 2911



認証番号0009748

発行日：2024年6月24日

目 次

1.	取組の対象組織・活動の明確化	P1
2.	環境経営方針	P2
3.	環境経営目標	P3
4.	環境経営計画	P4
5.	実施体制図	P5
6.	環境経営目標の実績・評価 具体的取組実施推移表及び評価 活動トピックス	P6 P7～P11 P12～P13
7.	環境経営計画の実績・評価	P14
8.	次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P15
9.	適用される法令と遵守状況	P16
10.	代表者による全体の評価と見直し・指示	P17

1.取組の対象組織・活動の明確化

取組の対象組織・活動

□組織の概要

(1)名称及び代表者

株式会社 大和商會

代表取締役 川崎 正幸

(2)所在地

本 社 香川県観音寺市出作町256番地

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 富田 政樹

担当者 富田 政樹

TEL:0875-25-2133

(4)事業内容

電気・機械機器卸小売業

香川県知事建設業許可番号: (般-2)第4015号

・建設業

・管工事

・電気工事

・水道施設工事

・機械器具設置工事

(5)事業の規模

売上高

816 百万円

主要工事件数

11 件

工事売上高

166 百万円

商社売上高

650 百万円

従業員

18名

延べ床面積

620㎡

(本社 382㎡、倉庫 238㎡)

(6)事業年度

10月～9月

(7)エコアクション21集計期間

4月～3月

□対象範囲

全組織・全活動

2. 株式会社 大和商會 環境経営方針

企業理念

当社は電気・機械機器の販売及び建設設備工事を業として、地域の発展に貢献する中で、地球環境の重要性を深く認識し、環境保護や維持に取り組み、事業の発展と調和した環境経営の継続的改善をして参ります。

環境経営方針

エネルギーの大部分を輸入に依存する我が国の現状や地球温暖化、異常気象に早急に対応する為に、エネルギー、資源の節約と環境汚染の防止が重要かつ急務であります。当社は企業理念の実現に向け、次の方針を掲げ実行します。

1. 環境関連法規及び環境関連の要求などを順守する
2. 二酸化炭素排出量（電気、ガソリン等のエネルギー）を削減する
3. 水使用量を削減する
4. 廃棄物の削減及び廃棄物の再利用を図る
5. 環境、省エネを考慮した商品の提案・販売・メンテナンスを行う
6. 環境に考慮した工事材料の使用と施工を行う
7. サプライチェーン全体の環境負荷低減を推進する
8. 環境保全を意識した活動が出来るよう従業員の教育を行う

上記の方針を全従業員に周知し、全員参加で取り組みます。

そして、この取り組みを環境経営レポートとして取りまとめ公表致します。

改訂日：2020 年 9 月 21 日
株式会社 大和商會
代表取締役 川崎正幸

3.環境経営目標

【環境経営中期目標】

作成日：2021年9月18日

目的	単位	目 標			
		基準年 (2021年度)	2022年度 基準年の-1%	2023年度 基準年の-2%	2024年度 基準年の-3%
二酸化炭素排出量の削減 * 1	kg-CO ₂	41,314	40,901	40,488	40,075
【内訳】					
電気使用量	kWh	20,569	20,363	20,158	19,952
ガソリン使用量	L	10,543	10,437	10,332	10,226
軽油使用量	L	2,324	2,300	2,277	2,254
廃棄物排出量の削減	kg	44,377	43,934	43,490	43,046
一般廃棄物	kg	517	512	507	502
産業廃棄物	kg	43,860	43,421	42,983	42,544
水使用量の削減	m ³	127	126	124	123
組織本来の取組 * 2	件数	環境・省エネ 機器の提案 (目標:50件)	環境・省エネ 機器の提案 (目標50件)	環境・省エネ 機器の提案 (目標50件)	環境・省エネ 機器の提案 (目標50件)

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、2022年度の
四国電力の調整後排出係数0. 574 (kg-CO₂ / kWh) を使用しました。

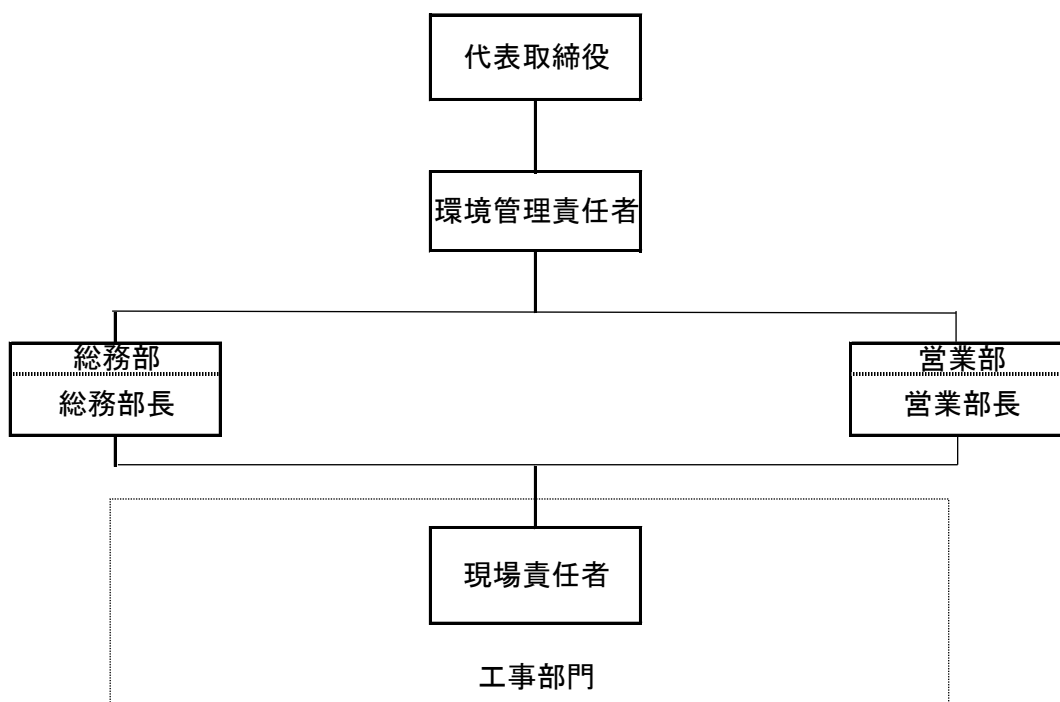
* 2. 組織本来の取組として「環境、省エネを考慮した商品の提案・販売・メンテナンス」に
取り組みます。社内教育を実施し、客先への提案を増やします。

* 小数点以下、四捨五入しています。

4.環境経営計画

項目	目的	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	①不要な照明を消す ②冷暖房の適正温度の維持(冷房28℃,暖房22℃まで) ③使用しない事務機器の電源オフ	取締役
	ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②急な加速、急ブレーキをしない	営業部長
	軽油使用量の削減	③タイヤの空気圧の適正化 ④不要な荷物を載せない ⑤営業ルートの効率化	
廃棄物	一般廃棄物の削減	①簡易包装と段ボールの再利用 ②コピー用紙の裏紙使用 ③封筒等の再利用	環境管理責任者
	産業廃棄物の削減	①リサイクルの促進 ②現場廃棄物の適正処理 ③マニフェスト及び契約書の適正管理	工事責任者
水使用量	節 水	①蛇口の緩みチェック ②蛇口のコック取外し ③樹木への過剰な散水をひかえる	取締役
化学物質	PRTR法対象商品の削減	①使用しない	
組織本来の取組	環境・省エネ機器の提案	①社内で環境教育を実施 ②環境・省エネ商品の提案及び販売 ③環境に配慮した施工の実施	社長

5. 株式会社 大和商會 実施体制図



		役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代表取締役		・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間を準備 ・ 環境管理責任者を任命 ・ 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・ 全従業員に対する教育・訓練の実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営レポートを確認し、承認 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者		・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・ 環境経営目標、環境経営計画書を作成（確認） ・ 環境経営活動の取り組み結果を代表者に報告 ・ 環境経営レポートの作成 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	総務部	・ 環境管理責任者の補佐 ・ 環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 ・ 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・ 環境経営活動の実績集計
	営業部 工事部門	・ 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・ 自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員		・ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・ 決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

6.環境経営目標実績と評価

実績と評価

達成率=目標÷実績×100

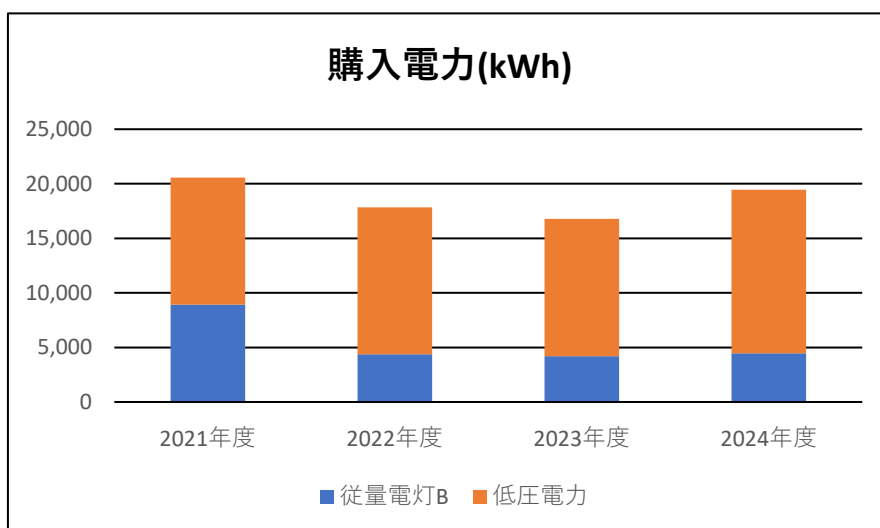
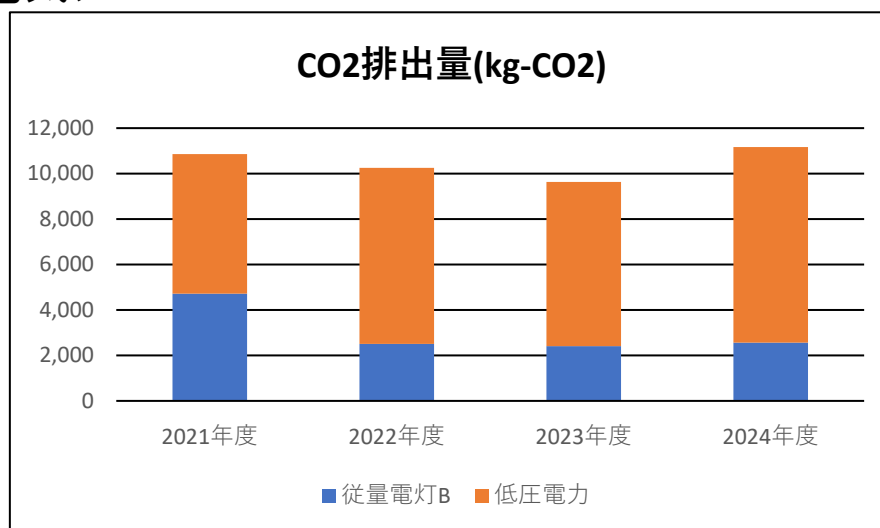
目的	単位	基準期間	目標	実績	達成率	評価
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	41,314	40,075	43,173	92.8%	×
【内訳】						
電気使用量	kWh	20,569	19,952	19,452	102.6%	○
ガソリン使用量	L	10,543	10,226	13,796	74.1%	×
軽油使用量	L	2,324	2,254	0	∞	○
廃棄物排出量の削減	kg	44,377	43,046	16,765	256.8%	○
一般廃棄物	kg	517	502	495	101.4%	○
産業廃棄物	kg	43,860	42,544	16,270	261.5%	○
水使用量の削減	m ³	127	123	113	108.8%	○
組織本来の取組	件数	50	50	57	114.0%	○

コメント

二酸化炭素排出量の削減	評価・コメント	・二酸化炭素削減のため、電気使用量削減及び自動車燃料の削減における社内の取組は定着しており、無理なく実践できています。 ・電気使用量における二酸化炭素排出量の削減は達成となりました。これは事務所エアコンの使用を2台から1台に変更した為です。1台の使用でも業務や社員の体調に支障はありませんでした。 ・ガソリンの二酸化炭素排出量の削減は営業車両をすべてガソリン車にした為と走行距離が増えたので目標を達成できませんでした。 ・軽油の二酸化炭素排出量の削減は軽油使用の車両を廃車した為目標達成となりました。
	次年度取組	・具体的実施項目の継続的取組に励みます。事務所のエアコンを効率の良いインバーターエアコンに更新する計画をしています。 ・古い営業車の買替を予定しています。
廃棄物排出量削減	評価・コメント	・一般廃棄物は紙の裏紙再利用や裁断紙・段ボール・カトラリー類の再資源化を従来通り行い、排出量は目標通りとなりました。 ・産業廃棄物は排出量が大幅に削減した為目標達成しました。マニフェストの管理や分別などはきちんとできています。
	次年度取組	・具体的実施項目の継続的取組に励みます。 ・特にマニフェスト及び契約書の適正管理の徹底をします。 ・現場で出た排出物は現場で適正に処分するようにします。
水使用量の削減	評価・コメント	・社内の取組は順調です。今期は削減目標達成となりました。節水に心がけた結果です。
	次年度取組	・具体的実施項目の取組に引き続き励みます。 ・蛇口の緩みやホースからの漏水を無くします。
組織本来の取組	評価・コメント	・本取組に向け、朝礼時に定期的に環境教育の実施。 ・環境に配慮した商品の提案・販売のため省エネ・エコ商品の紹介。適時商品勉強会の実施。 ・また、エコアクション21の責任者会議と翌日全員への報告は適時行っています。 ・こうして得た知識を生かし、今期はお客様 59件に環境に配慮した商品の提案をすることができ達成率114%となりました。 ・課題としては、提案した案件へのフォローの継続が弱いように感じます。保留案件の再度の見直しと、提案を継続していきましょう。 ・現場で工事を行う際は、資材の調達・施工は勿論のこと、近隣の方々への配慮も行っています。
	次年度取組	・具体的実施項目の継続的取組に励みます。 ・省エネ商品だけでなく、緊急事態に備えた商品の提案・販売できるよう努めます。

具体的取組実施推移表及び評価

<電気>



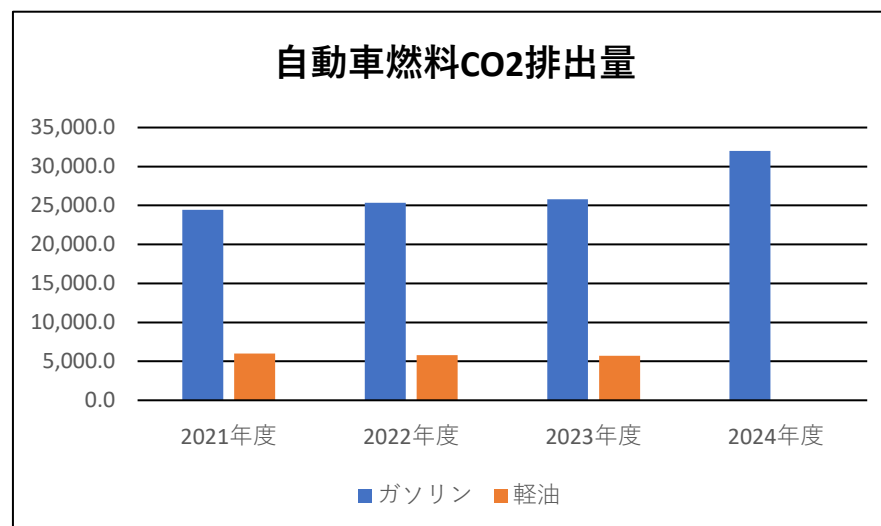
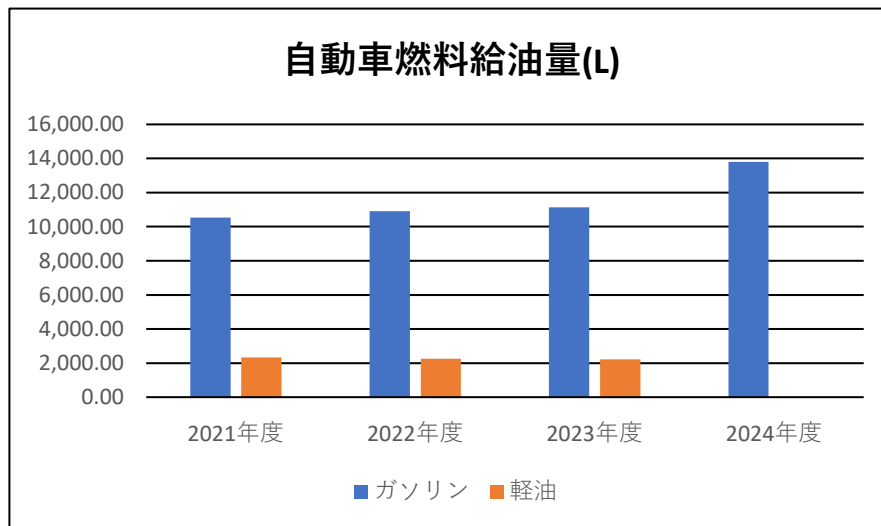
【評価】

電気の使用は事務所及び倉庫内です。

現場での仮設電力の使用は微量かつ共益費に含まれ、個別計算できないため除外しています。

従量電灯B及び低圧電力ともに使用量が増えました。特に気温の変動による空調機の使用時間が増えたのが原因と考えられます。

<自動車燃料>



営業車台数

2024年度=ガソリン車10台

2023年度=ガソリン車9台(10月に増車)

2022年度=ガソリン車7台 → 8月より8台

2021年度=ガソリン車7台

2024年度=軽油車0台

2023年度迄=軽油車1台

<目標 -1% に向け具体的に取り組んでいること>

- ①アイドリングストップの徹底 ②急な加速、急ブレーキをしない
- ③タイヤの空気圧の適正化 ④不要な荷物を載せない ⑤営業ルートの効率化

【 評 価 】

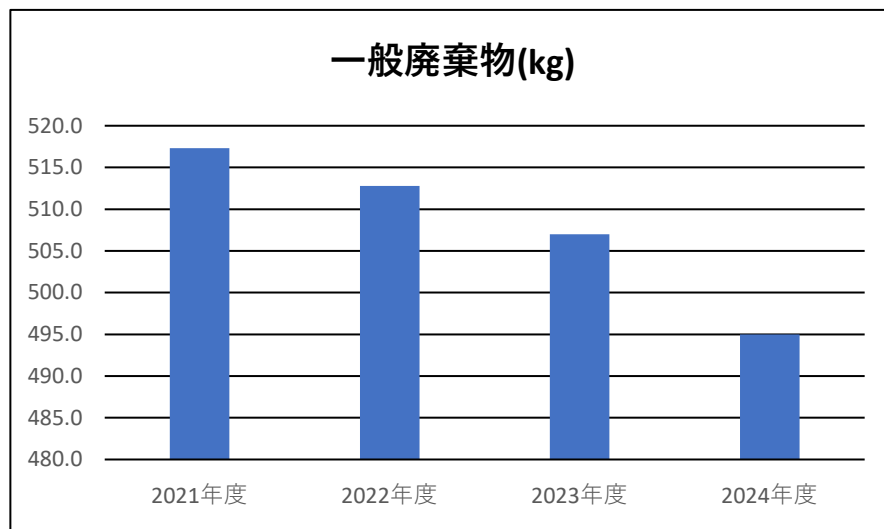
ガソリンは前年と比較し 24%のCO2排出量の増加となりました。

これは、営業担当が目標に掲げた具体的取組①～⑤を各々が意識しましたが営業車の内の軽油車を廃車にし、すべての営業車をガソリン車にしたので、結果的に、使用量が増加いたしました。

今後も目標の達成に向けて、上記5つの施策を続けCO2排出量削減に努めます。

軽油車を廃車にしたので、軽油の使用量はなくなりました。

<一般廃棄物>



《特記事項》

- 1.一般廃棄物の内、生ごみ(生活ごみ)は茶がら、切り花等を排出しています。
弁当の残り等は各自持ち帰るようにしています。
- 2.新聞紙、書籍・雑誌、ダンボールは地域活動に協力し、小中学校の廃品回収に出しています。
資源回収業者とも覚書を交わし(2013年1月締結)、弊社まで回収に来てもらい、無償でダンボール、雑誌・カタログ類、シュレッダーくずを引き取ってもらっています。
- 3.分別収集の徹底を図っています。
- 4.毎月活動している地域清掃で持ち帰った収集物は拾ってきた本人が一般廃棄物、産業廃棄物、リサイクル品に分別しています。当該一般廃棄物は当社排出分と一緒に処分しています。

<目標 -1% に向け具体的に取り組んでいること>

- ①簡易包装とダンボールの再利用
- ②コピー用紙使用後の裏紙再利用
- ③封筒等の再利用

【 評 価 】

事務所から排出されるものは、大半が紙くずで、残りは生ごみ(茶がら、切り花等)です。

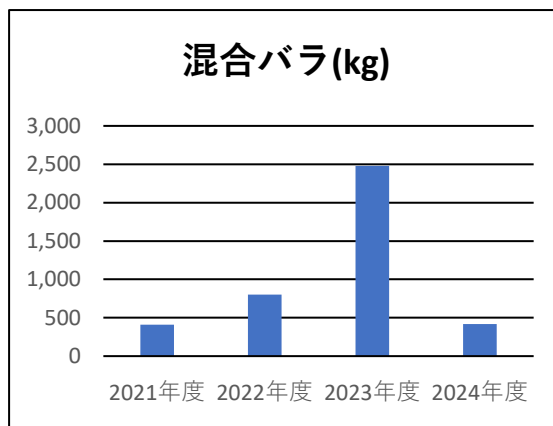
全体的には裏紙再利用後の排紙や捨てていたメモ用紙等の小さな紙類に至るまでシュレッダーを積極的に活用し、ゴミ箱に捨てる紙屑を減らし努力をしております。

今年度は前年度比2.4%の削減となり、目標値502kgに対して、495kgの排出となりました。

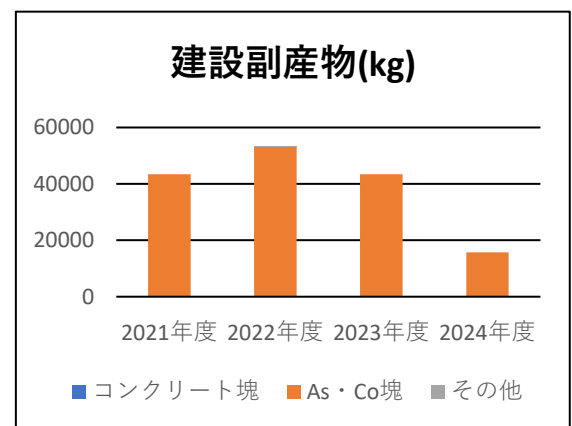
分別収集の徹底、裏紙再利用等も社内では定着し、従業員のリサイクル意識も向上してきたと思います。

今後も引き続き分別の徹底、紙類の可能な限りの再利用を心がけて社内一丸となって取り組んで参ります。

<産業廃棄物>



<建設副産物>



<<特記事項>>

- 1.可能な限り分別し、分解できないものについては混合バラとして排出しています。
- 2.廃棄物は都度コンテナに投棄し、コンテナが満杯になったら自社運搬で処分場まで持ち込んでいます。その日時、そこで計量した数値をもって排出時期及び量として記録しています。
- 3.毎月活動している地域清掃で持ち帰った収集物は拾ってきた本人が一般廃棄物、産業廃棄物、リサイクル品に分別しています。当該産業廃棄物は当社排出分と一緒に処分しています。

<目標 -1% に向け具体的にに取り組んでいること>

- ①リサイクルの促進
- ②現場廃棄物の処理管理
- ③マニフェスト及び契約書の適正管理

【評価】

産業廃棄物は、特記事項でも述べた通り、決まった時期及び日時に処分業者に持ち込んでいるわけではなく廃棄物を投棄するコンテナが満杯になった時点でのカウントとなるため、各月での比較は難しいですが排出量はほぼ一般工事件数及び内容に比例していると考えられます。

その他に入荷商品の梱包資材もありますが、排出量はごく微量です。

梱包は、仕入先に過剰な梱包を控えるよう依頼し、客先では先方での処分をお願いし、あまり持ち帰らないようにしています。

また、弊社で再利用したり必要な業者に無償で引き取ってもらっています。

全体の流れとしては、各自適正分別・廃棄に取り組み、適当な混載はなくなりました。

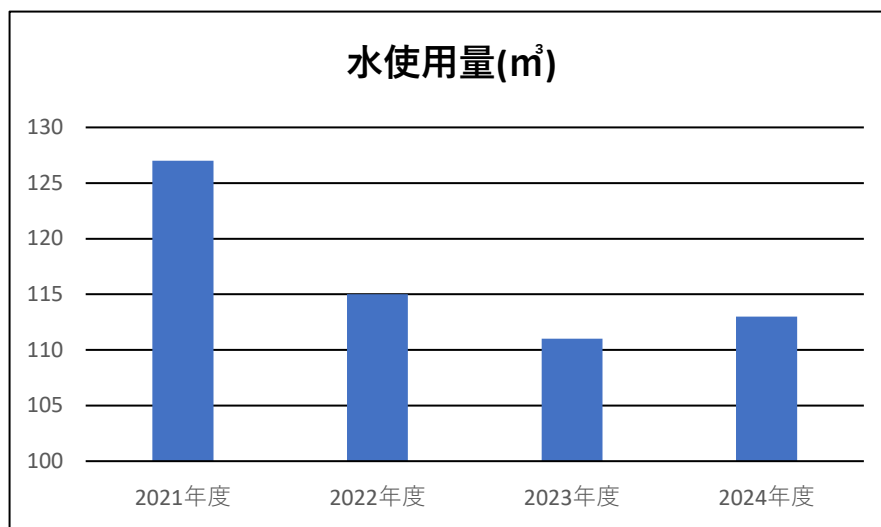
管理においても、産業廃棄物処理委託契約が適正に締結されていること、

処分業や収集運搬業等の許可証が失効していないことを確認、マニフェストの発行及び書類の適正管理を確実にし、県へのマニフェスト交付状況の報告義務を順守しています。

弊社の建設副産物は、特記事項にあるように入札受注物件である公共工事(管工事及び水道工事)から排出されるものが該当します。指示通り処分しています。

このため時期傾向対策を練ったり、数値目標を達成することは難しいですが、工事着工の事前打合せや作業前のミーティングの際に本取組の周知徹底を図り、排出物は混載無きよう分別時に細心の注意を払い、収集・運搬、処分委託の契約を都度適正締結し、マニフェストの発行及び管理の徹底に努めています。

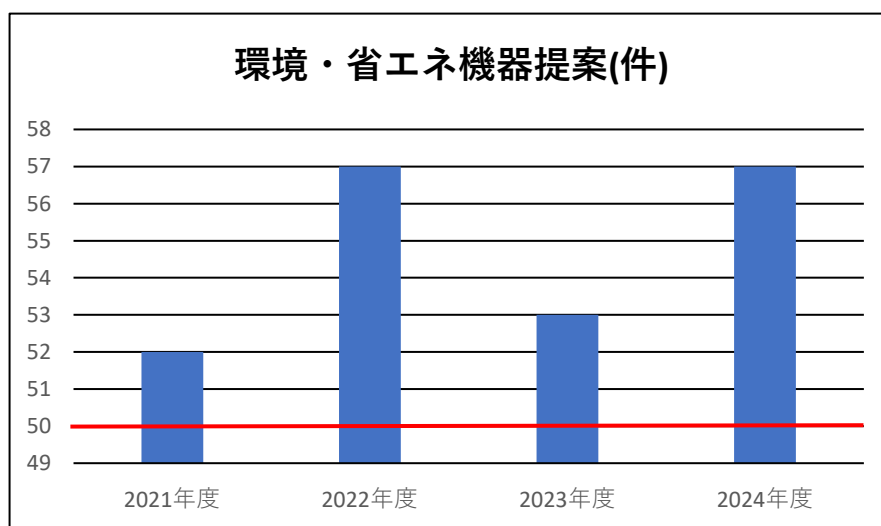
<水>



【評価】

水の使用は事務所及び倉庫内の水道やトイレ等の生活用水のみです。
 建設工事現場の仮設用水としての使用は微量です。
 (機具の洗浄及び手洗いに使用。使用量は共益費に含まれる為個別計算できない。)
 もともと過剰な無駄使いや水漏れ等は無かったため、取組状況は順調で、
 全員意識的にできています。
 猛暑日や日照りが続いた時は、樹木への散水をしていましたので、
 今期は昨年に比べ、1.8%の増加となりましたが、目標値の123m³はクリアしました。(使用量113m³)
 継続して取り組んで参ります。

<環境・省エネ機器提案>



目標:年50件の提案

【評価】

今年度の提案件数は57件、達成率114%です。

提案が売上に結び付いた案件もありました。
 それぞれが確実に提案をし、その提案を売上に結び付けられるようにしていきましょう。

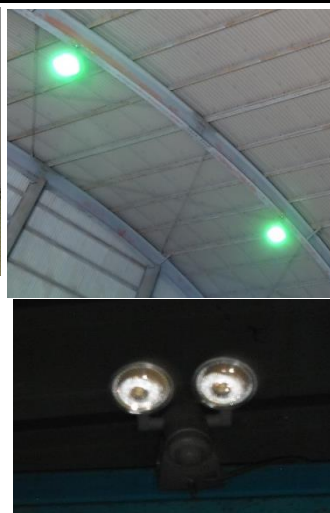
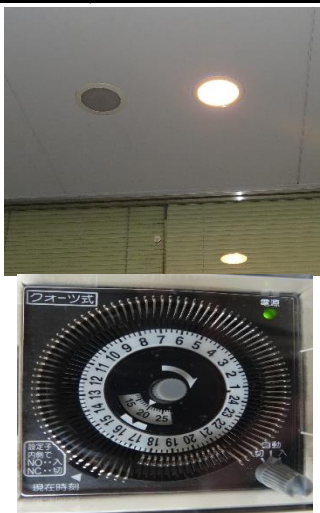
活動トピックス



＜社外に向けて公表＞

弊社がエコアクション21に取り組んでいることを社外に向けて公表。

＜節電＞ シュレッダー・パソコン等の事務機器は使用しない時はスリープまたは電源OFF。呼びかけシールを貼り、意識の向上を図る。



＜節電＞

事務所内の空調機器と照明呼びかけシールを貼り、意識の向上を図る。

空調機器は適正温度の維持（冷房28℃、暖房 22℃）事務所屋外照明は、点灯を1灯のみにし、点灯時間を時期により変え、最小限にしている。

倉庫の照明も省エネ高効率のものに取替。入口には人感センサー式の自動点灯照明を取付け無駄を省く。

＜事務所内＞

＜事務所屋外照明＞

＜倉庫＞



＜コピー用紙の裏紙利用＞

コピー機、プリンターの手差しに裏紙を設置。社内書類はできるだけ裏紙を利用。呼びかけシールを貼り意識の向上を図る。



＜節水＞ 左の3枚:トイレの洗面と給湯室の流し台 呼びかけシールを貼り、意識の向上を図る。

右:蛇口のcock取外し 使用時のみcockと取り付けることにより、無駄使いといったずらを防ぐ。

活動トピックス

[illegible]

＜営業車のエコ運転推進＞
エコ運転を呼びかける団扇を作成。
全営業車の見えるところに置き、
常に心掛ける。
全営業車の毎日の走行距離と給油
時の距離、ℓ数を表に控え、燃料消
費量等を管理している。



＜封筒の再生利用＞ ＜エコ封筒の作成＞

不要な封筒の裏面を利用し再生封筒を作成、活用。

資源保護と環境保全のため、封筒の材質にも印刷用インクにも配慮し角2のオリジナルエコ封筒を作成。
この封筒は受け取った相手は定形封筒として再利用できる。



＜安全対策＞ 新型コロナウイルス感染対策

感染対策の為、アクリルパーテーションやビニールカーテンを設置し、マスク着用・体温計測や手指消毒などを徹底しました。



＜地域清掃＞

コミュニケーション記録の提案から、毎月1回地域の清掃を行っている。

収集したごみは、事業活動で排出される廃棄物同様適切に分別処分、再資源化、リサイクル化を行っている。

近隣の方から挨拶やお礼の言葉を言われ、うれしさとやりがいを感じている。

7. 環境経営計画の実績・評価

取組期間:2023年4月1日～2024年3月31日

項目	内容	責任者	具体的実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	評価	
二酸化炭素	電気使用量の削減	取締役	①不要な照明を消す	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			②冷暖房の適正温度の維持 (冷房28℃ 暖房22℃まで)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			③使用しない事務機器の電源オフ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ガソリン使用量の削減	営業部長	①アイドリングストップの徹底	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			②急な加速、急ブレーキをしない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	軽油使用量の削減		③タイヤの空気圧の適正化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
			④不要な荷物を載せない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
			⑤営業ルートの効率化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
廃棄物	一般廃棄物の削減	環境管理 責任者	①簡易包装と段ボールの再利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			②コピー用紙の裏紙使用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			③封筒等の再利用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	産業廃棄物の削減	工事責任者	①リサイクルの促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			②現場廃棄物の適正処理及び管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			③マニフェスト及び契約書の適正管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
水使用量	節水	取締役	①蛇口の緩みチェック	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			②蛇口のコック取外し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
			③樹木への過剰な散水を控える	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
組織本来の取組	製品の環境配慮	社長	①環境配慮商品の提案・販売	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			②環境に配慮した施工の実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

※「○:計画通り実施できた」「△:一部できなかったところがある」「×:計画通りできなかった」の3段階評価です。

項目	評価に対するコメント
二酸化炭素の排出量削減	電気使用量削減における社内の取組は定着しており、無理なく実践できています。
	法定速度を守り急発進・急加速をしないエコドライブは実践出来たと思います。 また、無駄なアイリングストップも取り組めたと思います。 更に、タイヤ空気圧点検は習慣化した活動になってます。
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物は紙の裏紙再利用や裁断紙・段ボール・カタログ類の再資源化を従来通り行っています。
	産業廃棄物では工事現場では本取組の周知や分別の徹底、各種契約締結及び管理の徹底に努め、法律や義務を順守しています。
水使用量の削減	水道を使用した後、蛇口がきちんと締めているかの確認を徹底しました。 また、樹木への散水も昨年より減らしました。
組織本来の取組 環境・省エネ機器の提案	朝礼時に定期的に環境教育の実施。 環境に配慮した商品の提案・販売のため省エネ・エコ商品の紹介。 適時商品勉強会の実施をしました。

8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

【環境経営中期目標】

目的	単位	目 標			
		基準年 (2024年度)	2025年度 基準年の-1%	2026年度 基準年の-2%	2027年度 基準年の-3%
二酸化炭素の削減 * 1	kg-CO2	42,239	41,817	41,394	40,972
【内訳】					
電気使用量	kWh	19,452	19,257	19,063	18,868
ガソリン使用量	L	13,796	13,658	13,520	13,382
軽油使用量	L	0	0	0	0
廃棄物排出量の削減	kg	16,765	16,597	16,430	16,262
一般廃棄物	kg	495	490	485	480
産業廃棄物	kg	16,270	16,107	15,945	15,782
水総使用量の削減	m ³	113	112	111	110
組織本来の取組 * 2	件数	環境・省エネ 機器の提案 (目標:50件)	環境・省エネ 機器の提案 (目標50件)	環境・省エネ 機器の提案 (目標50件)	環境・省エネ 機器の提案 (目標50件)

* 1. 電力のCO2発生量については、2023年12月22日発表の
四国電力の調整後排出係数0.526(kg-CO2/kWh)を使用しました。

* 2. 組織本来の取組として「環境、省エネを考慮した商品の提案・販売・メンテナンス」に
取り組みます。社内教育を実施し、客先への提案を増やします。

【環境経営計画】

項目	目的	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電気使用量の削減	①不要な照明を消す ②冷暖房の適正温度の維持(冷房28℃,暖房22℃まで) ③使用しない事務機器の電源オフ	取締役
	ガソリン使用量の削減	①アイドリングストップの徹底 ②急な加速、急ブレーキをしない	営業部長
	軽油使用量の削減	③タイヤの空気圧の適正化 ④不要な荷物を載せない ⑤営業ルートの効率化	
廃棄物	一般廃棄物の削減	①簡易包装と段ボールの再利用 ②コピー用紙の裏紙使用 ③封筒等の再利用	環境管理責任者
	産業廃棄物の削減	①リサイクルの促進 ②現場廃棄物の適正処理 ③マニフェスト及び契約書の適正管理	工事責任者
水使用量	節 水	①蛇口の緩みチェック ②蛇口のcock取外し ③樹木への過剰な散水をひかえる	取締役
組織本来の取組	環境・省エネ機器の提案	①社内で環境教育を実施 ②環境・省エネ商品の提案及び販売 ③環境に配慮した施工の実施	社長

9. 環境関連法規の遵守状況並びに違反、訴訟の有無

＜環境関連法規等の遵守状況の確認＞

法規制	遵守状況	備 考
環境基本法	遵守	法に則った事業活動・施工・処理。違反なし。
オゾン層保護法	遵守	下請業者への指導・管理の徹底。 (空調設備の取付工事、不要機の処分、ガス充填等) オゾン層破壊を抑制する商品を提案、販売。
フロン排出抑制法	遵守	法に則って点検を行う。
廃棄物処理法	遵守	法に則った処理。違反なし。
建設リサイクル法	遵守	法に則った処理。違反なし。
容器包装リサイクル法	遵守	法に則った処理。違反なし。
家電リサイクル法	遵守	法に則った処理。違反なし。
騒音規制法	遵守	工事の際、現場で適正処置。
振動規制法	遵守	工事の際、現場で適正処置。
作業所で同意する その他の要求事項	遵守	工事の際、現場で適時適切に対応、処理。
グリーン購入法	遵守	適合商品を購入。
香川県環境基本条例	遵守	法に則った事業活動・施工・処理。違反なし。
観音寺市環境基本条例	遵守	法に則った事業活動・施工・処理。違反なし。

※環境法規制等遵守チェックリストより抜粋

＜違反、訴訟等＞

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

本年はエコアクション 21 を導入して 1 2 年が経過し、6 度目の中間審査を迎えます。
今年度も環境経営方針のもとにエネルギー、資源の節約と環境汚染の防止に取り組み、事業の発展と調和した環境経営を目標に継続的改善を行いました。

<評価と見直し>

今期は、売上高 8 1 6 百万円 対前年比 9 5 % となり、工事売上高も 1 6 6 百万円 対前年比 9 4 % と減少しました。特に空調工事・電気工事が減少しましたが、大型の天井クレーン販売に伴い機械器具設置工事は増加しました。商社売上額は減少しました。

本年は営業車にハイブリッドの新車を購入、次年度は長年使用し燃費が悪くなった営業車を新車と入れ替える予定。延びていた事務所の空調設備も秋に更新の予定。

国内の景気は経済活動の正常化が進み、穏やかに回復しており、企業の設備投資はさらに省エネ、省人化、脱炭素化に向け進むと思われます。

そういった要望に応えられる様、各種勉強会やメーカー同行 P R、展示会への参加を増やし、提案営業の向上をはかり、さらにお客様に満足と安心して頂ける会社を目指します。

次年度も、以前としてエネルギー資源高、仕入商品、物流費、諸物価の値上げ、また賃上や人手不足等、取り巻く環境は厳しくなると思われます。

さらに経費の節減に努め環境経営方針に則り環境経営の改善に今後も取り組んで参ります。
次年度からの 3 年間の環境経営中期目標を設定いたしました。

<見直しの有無>

・環境経営方針	有 ☐	無 ☒
・環境経営目標	有 ☒	無 ☐
・環境経営計画	有 ☐	無 ☒
・実施体制	有 ☐	無 ☒

以 上

2024 年 6 月 24 日
株式会社 大和商會
代表取締役 川崎正幸